

小学校家庭教育学級・MCR 学級合同開級式及び家庭教育講演会報告

1 目 的

小学校家庭教育学級・MCR 学級合同開級式及び家庭教育講演会を開催することで、家庭教育学級生に家庭教育の重要性について再認識させるとともに、1年間の小学校家庭教育学級に対する学習意欲を高める。



2 日程・会場・参加者

日 程 令和6年5月31日(金)10:00～12:00(受付9:30～)
会 場 松戸市民劇場ホール
参加者 73名 一時預かり利用者 1名



3 内 容

○小学校家庭教育学級合同開級式

主催者挨拶 松戸市教育委員会生涯学習部長 井之浦 太郎 氏
来賓祝辞 松戸市校長会会長 中道 俊一 氏

○家庭教育講演会

演 題 「令和を生き抜くための親の役割とは」
～新時代のキャリア教育を考える～

講 師 NPO 法人 MamaCan 理事長 山田 美和 氏



4 概 要

〈小学校家庭教育学級生・MCR 学級生52名、MCR 中学校学級生8名、その他13名、計73名〉

合同開級式では、生涯学習部長・校長会長の挨拶で、松戸市家庭教育学級は60年目になるということ、子育てにおけるちょっとしたエピソード、日頃からの充実した学級運営に対しての労いの言葉などを話されました。

NPO 法人 MamaCan 理事長 山田美和氏の講演では、まず、これまでの時代を振り返り、家族の姿や労働の状況、就業における家庭での女性の負担などが示されました。そして、これからの時代では働くことの定義や意義が大きく変化していくことが予想され、これまでの経験や価値観をアップデートしていく必要があることにも言及されました。そのために4C(コミュニケーション、クリエイティブ、コラボレーション、クリティカルシンキング)を身につけて、100年ライフキャリアを目指し、そのような時代に生きる子どもたちとの向き合い方は自立から自律に向かわせ、「健康、居場所つながり、対話、役割、自己理解」を大切にさせていくこと。自己理解は自己受容であり、他者受容にもつながります。自己選択できるようにすることが大切であり、それには責任が伴うこと、等について説明され、最終的『わたしを整える』ことが重要であるというまとめとなりました。途中「ライフ・キャリア・レインボーワークシート」を活用する場面もあり、充実した講演会となりました。

5 参加者の主な感想

- ・今の社会、これからの社会のことを知るとともに、自分自身の価値観を良い意味でアップデートできたと感じ、豊かな人生を送る糧となりました。
- ・自己肯定感を上げるようなヒントがたくさんある講演会でした。
- ・校長先生のお話もとても親近感のあるお話で、もっと聞きたいと思いました。
- ・自分と向き合って、自分を整えていこうと思いました。